



平成 18 年 8 月 11 日

各 位

会 社 名 中央化学株式会社
 代表者名 代表取締役社長 渡辺 信
 (J A S D A Q ・ コード 7 8 9 5)

問 合 せ 先

役職・氏名 取締役管理本部長
 兼総務部長兼経理部長 永田 修

電 話 0 4 8 - 5 4 0 - 2 6 2 4

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 18 年 2 月 17 日の決算短信発表時に公表しました平成 18 年 12 月期（平成 18 年 1 月 1 日～平成 18 年 12 月 31 日）の業績予想を下記の通り修正いたしますので、お知らせいたします。

記

1. 平成 18 年 12 月期連結中間業績予想数値の修正（平成 18 年 1 月 1 日～平成 18 年 6 月 30 日） （単位：百万円、％）

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 18 年 2 月 17 日発表)	46,500	900	250
今 回 修 正 予 想 (B)	41,280	130	410
増 減 額 (B - A)	5,220	770	660
増 減 率	11.2%	85.6%	-
前期(平成 17 年 6 月中間期)実績	41,645	744	3,548

2. 平成 18 年 12 月期単独中間業績予想数値の修正（平成 18 年 1 月 1 日～平成 18 年 6 月 30 日） （単位：百万円、％）

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 18 年 2 月 17 日発表)	37,000	900	300
今 回 修 正 予 想 (B)	33,060	210	240
増 減 額 (B - A)	3,940	690	540
増 減 率	10.6%	76.7%	-
前期(平成 17 年 6 月中間期)実績	34,087	790	3,160

3. 平成 18 年 12 月期連結通期業績予想（平成 18 年 1 月 1 日～平成 18 年 12 月 31 日） （単位：百万円、％）

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 18 年 2 月 17 日発表)	100,000	3,000	1,000
今 回 予 想 (B)	91,000	1,000	100
増 減 額 (B - A)	9,000	2,000	900
増 減 率	9.0%	66.7%	90.0%
前期(平成 17 年 12 月期)実績	89,305	2,504	2,892

4.平成18年12月期単独通期業績予想(平成18年1月1日~平成18年12月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成18年2月17日発表)	80,000	2,500	1,200
今回予想(B)	73,000	700	100
増減額(B-A)	7,000	1,800	1,100
増減率	8.8%	72.0%	91.7%
前期(平成17年12月期)実績	71,866	2,006	3,192

5.修正の理由

(1)連結中間業績・単独中間業績

国内(単独)

昨年の製品価格の値上等により失った市場シェアを、新製品投入等の拡販攻勢で奪回すべく計画しておりましたが、軽量素材への転換に対する同業他社の攻勢や、当社の新製品投入の遅れなどからシェア回復には至らず、新市場の獲得も十分な成果をあげることが出来ませんでした。

この結果、売上高は当初の予想を10.6%下回り、経常利益は当初予想に対し約7億円下回ることとなりました。また、これらに加え、役員退職慰労引当金の過年度相当分約3億円と、製品処分損約2億円を特別損失に計上したことなどから、当期利益は当初予想に対し約5億円の未達となりました。

米国

米国における売上げは、大口得意先からの受注減少が響き前年同期比横這いの水準にとどまり、当初予想を達成するには至りませんでした。利益については、原材料価格のアップやガソリン価格高騰等による物流コストの上昇などから、当初予想を20%程度下回る結果となりました。

中国

中国については、国内・米国と同様に原材料価格アップの影響を受けておりますが、前年同期比25%増という依然好調な売上の伸びなどに支えられ、利益については、営業利益ベースで前年同期比約1億円の収益改善で、当初予想通りの水準となりました。

(2)連結通期業績・単独通期業績

原材料価格は今後も高騰が予想され、厳しい環境が続くものと思われます。これに対し下期は、生産面では老朽化設備の新鋭機への切替・合理化投資・環境整備等が進み、また、営業面でも新素材・新製品の投入が本格化し、業績拡大を見込んでおりますが、上期の遅れを挽回するまでには至らず、通期では、売上高・利益ともに当初予想を大きく下回る見込みです。

以上